

業 務 状 況 の 公 表

鹿屋市告示第365号

鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき
令和7年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和7年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和6年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和7年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和6年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）及び鹿屋市水道事業施設規模適正化計画の改訂を行い、人口減少等に伴う給水収益の減少や施設の老朽化及び耐震化に伴う更新需要の増大など社会経済状況の変化を的確に反映した収支見通しを作成し、財政マネジメントの向上と中長期的な経営基盤強化を図った。

また、「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」の評価結果を踏まえ、ビジョンで掲げる基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づく事業を計画的に推進するため、漏水の原因となる老朽管及び耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の更新や、人工衛星画像とAI解析を活用した漏水調査を実施する等、有収率向上や、漏水に起因する二次災害の未然防止に取り組んだほか、小学校等の避難施設や医療機関等について、地震等の災害時においても配水機能を確保するため、基幹管路等の耐震化に取り組み、施設の健全化及び市民への安定的な水の供給に努めた。

2 業務量

区 分 \ 年 度 別	令和6年度 下 半 期	令和6年度 上 半 期	増 減	令和6年度末 現 在
給水区域内人口（A）（人）	94,708	95,938	△ 1,230	94,708
現在給水人口（B）（人）	93,341	94,494	△ 1,153	93,341
現在給水戸数（戸）	48,279	48,548	△ 269	48,279
普及率 — $\frac{(B)}{(A)} \times 100 (\%)$	98.56	98.49	0.07	98.56
年間総配水量（ m^3 ）	6,277,777	6,183,931	93,846	12,461,708
年間有収水量（ m^3 ）	4,980,717	5,096,435	△ 115,718	10,077,152
有収率（ $\%$ ）	79.34	82.41	△ 3.07	80.86

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
収 入	水 道 事 業 収 益	1,719,483,000	904,898,225	848,649,752	1,753,547,977	34,064,977
	営 業 収 益	1,659,615,000	835,046,300	844,241,707	1,679,288,007	19,673,007
	営 業 外 収 益	59,857,000	69,811,862	4,403,459	74,215,321	14,358,321
	特 別 利 益	11,000	40,063	4,586	44,649	33,649
	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支 出	水 道 事 業 費 用	1,574,745,000	942,841,308	505,424,501	1,448,265,809	126,479,191
	営 業 費 用	1,467,393,000	893,830,298	489,843,214	1,383,673,512	83,719,488
	営 業 外 費 用	97,242,000	49,011,010	15,579,637	64,590,647	32,651,353
	特 別 損 失	110,000	0	1,650	1,650	108,350
	予 備 費	10,000,000	0	0	0	10,000,000

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期			
収 入	資 本 的 収 入	21,089,000	22,022,664	33,914	22,056,578	0	967,578
	負 担 金	11,550,000	12,486,391	0	12,486,391	0	936,391
	補 助 金	240,000	240,000	0	240,000	0	0
	固 定 資 産 売 却 代 金	10,000	7,137	33,914	41,051	0	31,051
	出 資 金	9,289,000	9,289,136	0	9,289,136	0	136
	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	不用額
			下半期	上半期			
支 出	資 本 的 支 出	1,166,653,000	288,851,859	639,457,385	928,309,244	185,975,000	52,368,756
	建 設 改 良 費	1,001,538,000	205,847,929	557,346,482	763,194,411	185,975,000	52,368,589
	企業債償還金	165,115,000	83,003,930	82,110,903	165,114,833	0	167

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
1,685,927,709	0	83,003,930	82,110,903	1,520,812,876

5 令和6年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(令和7年3月31日)

資産の部

(単位：円)

1 固定資産			
(1)有形固定資産			
イ土地	632,473,777		
減損損失累計額	△ 14,543,133	617,930,644	
ロ建物	1,423,275,133		
減価償却累計額	△ 575,772,468		
減損損失累計額	△ 5,610,265	841,892,400	
ハ構築物	24,228,934,200		
減価償却累計額	△ 13,793,444,382		
減損損失累計額	△ 29,315,998	10,406,173,820	
ニ機械及び装置	2,491,032,847		
減価償却累計額	△ 1,588,430,635		
減損損失累計額	△ 8,985,864	893,616,348	
ホ車両運搬具	47,519,739		
減価償却累計額	△ 39,204,170	8,315,569	
ヘ工具器具及び備品	383,251,513		
減価償却累計額	△ 88,007,999	295,243,514	
ト建設仮勘定		189,799,680	
有形固定資産合計		13,252,971,975	
(2)無形固定資産			
イ電話加入権		723,751	
ロ施設利用権		165,228	
無形固定資産合計		888,979	
(3)投資その他の資産			
イ投資有価証券		100,000	
投資その他の資産合計		100,000	
固定資産合計			13,253,960,954
2 流動資産			
(1)現金預金		2,909,525,818	
(2)未収金	334,889,747		
未収金貸倒引当金	△ 4,841,376	330,048,371	
(3)貯蔵品		8,356,531	
(4)その他流動資産		1,100,000	
流動資産合計			3,249,030,720
資産合計			16,502,991,674

負 債 の 部

(単位：円)

3	固 定 負 債		
(1)	企 業 債		
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	1,369,447,411	
(2)	引 当 金		
イ	退職給付引当金	289,031,000	
	固 定 負 債 合 計		1,658,478,411
4	流 動 負 債		
(1)	企 業 債		
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	151,365,465	
(2)	未 払 金	41,164,187	
(3)	引 当 金		
イ	賞与引当金	16,874,083	
ロ	法定福利費引当金	3,497,379	
	引 当 金 合 計	20,371,462	
(4)	その他流動負債	5,485,959	
	流 動 負 債 合 計		218,387,073
5	繰 延 収 益		
(1)	長 期 前 受 金	2,055,763,980	
(2)	長期前受金収益化累計額	△ 1,441,101,868	
	繰 延 収 益 合 計		614,662,112
	負 債 合 計		2,491,527,596

資 本 の 部

6	資 本 金		13,459,101,051
7	剰 余 金		
(1)	資 本 剰 余 金		
イ	受贈財産評価額	71,601,523	
ロ	工 事 負 担 金	99,108,231	
ハ	補 助 金	6,999,834	
	資本剰余金合計	177,709,588	
(2)	利 益 剰 余 金		
イ	当年度未処分利益剰余金	374,653,439	
	利益剰余金合計	374,653,439	
	剰 余 金 合 計		552,363,027
	資 本 合 計		14,011,464,078
	負 債 資 本 合 計		16,502,991,674

6 令和7年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少等により給水収益が減少傾向にある。また、施設の老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれており、「経営基盤の強化」が課題となっている。

このような認識のもと、令和6年度に見直しを行った鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）の投資・財政計画を踏まえ、基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づいた事業を推進するための予算編成に努めた。

(2) 業務の予定量

① 給水戸数	48,100 戸
② 年間総配水量	12,513,988 m ³
③ 1日平均配水量	34,285 m ³
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	765,900 千円

(3) 主な事業

①水道施設更新事業

法定耐用年数を超過した馬掛ポンプ場等の更新を実施する。

②管路整備事業

ア 老朽管対策として、耐用年数を超過した管及び漏水が多発する管を優先的に布設替（単独工事）するとともに、県・市が実施する道路工事等に併せた老朽管の布設替を実施する。

イ 配水管整備として、水道管新設要望に伴う管の布設工事（単独工事）と、県・市が実施する道路工事等に併せた管の布設及び布設替を実施する。

ウ 基幹管路耐震化整備として、小学校等の避難施設や医療機関について、地震等の災害時に配水機能を確保するために耐震管を布設し、基幹管路等の耐震化を実施する。

③維持管理センター建設事業

維持管理センターの事務所について、施設が老朽化していることや、急傾斜地崩壊危険区域に指定されていることから、旭原配水池南側へ移転する。

④水道施設拡張事業

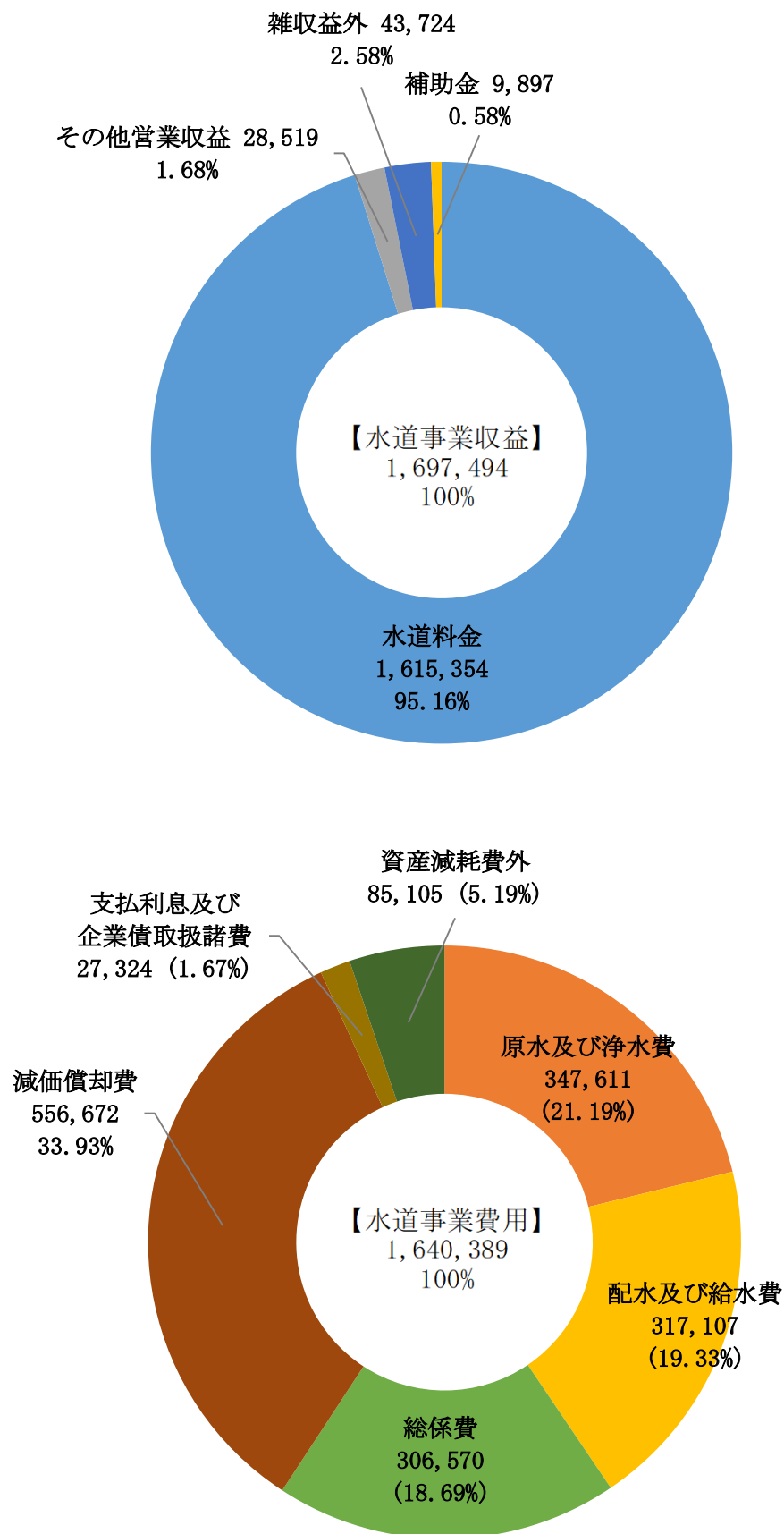
新規水源開発に伴う地質調査（吾平地区）、電気探査（新栄地区）及び柏木送水施設整備を実施する。

⑤配水ブロック化整備事業

効率的な水運用や配水圧の適正化を図るため、仕切弁の追加設置を行い、配水区域の完全ブロック化を実施する。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

